



デスクトップオーディオシステム

TSX-B237

JA 取扱説明書

目次

はじめに	3
付属品	3
本書について	3
本機でできること	4
各部の名称	5
本体	5
ディスプレイ	6
リモコン	7
準備する	9
電源を入れる	9
時計を設定する	10
スリープタイマーを使う	10
再生する	11
オーディオ CD を聴く	11
Bluetooth® で音楽を聴く	12
FM ラジオを聴く	15
USB 機器の音楽を聴く	17
外部機器の音楽を聴く	18
もっと便利に使う	19
シャッフル（ランダム） / リピート再生で聴く	19
曲情報を見る	20
音質を調整する	21
SCENE にお気に入り登録する	22
アラーム機能を使う（IntelliAlarm）	23

チャイルドロック機能を使う	26
モバイル端末を充電する（Qi）	27
ディスプレイの明るさを調節する（ディマー）	28
オプション設定	29
故障かな？と思ったら	31
ディスプレイの表示メッセージ	36
対応機器 / メディアとファイル形式	37
主な仕様	39
お問い合わせ窓口 / 保証とアフターサービス	42

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書と別冊「クイックマニュアル」の「安全上のご注意」を必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

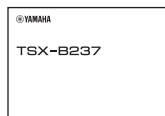
はじめに

付属品と、本書の見方について確認しておきましょう。

付属品



リモコン



クイックマニュアル



滑り止めパッド
(☞ 27 ページ)

本書について

- 本書では、本機のすべての機能と操作方法について詳しく説明しています。
- リモコンでの操作をメインに記載しています。
- 本文中のイラストは実物と異なる場合があります。
- iOS および Android 端末を総称して「モバイル端末」と表記しています。
- 本書ではiOSの画面を使用しています。画面はOSやバージョンによって異なる場合があります。
- マークについて



「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

お知らせ

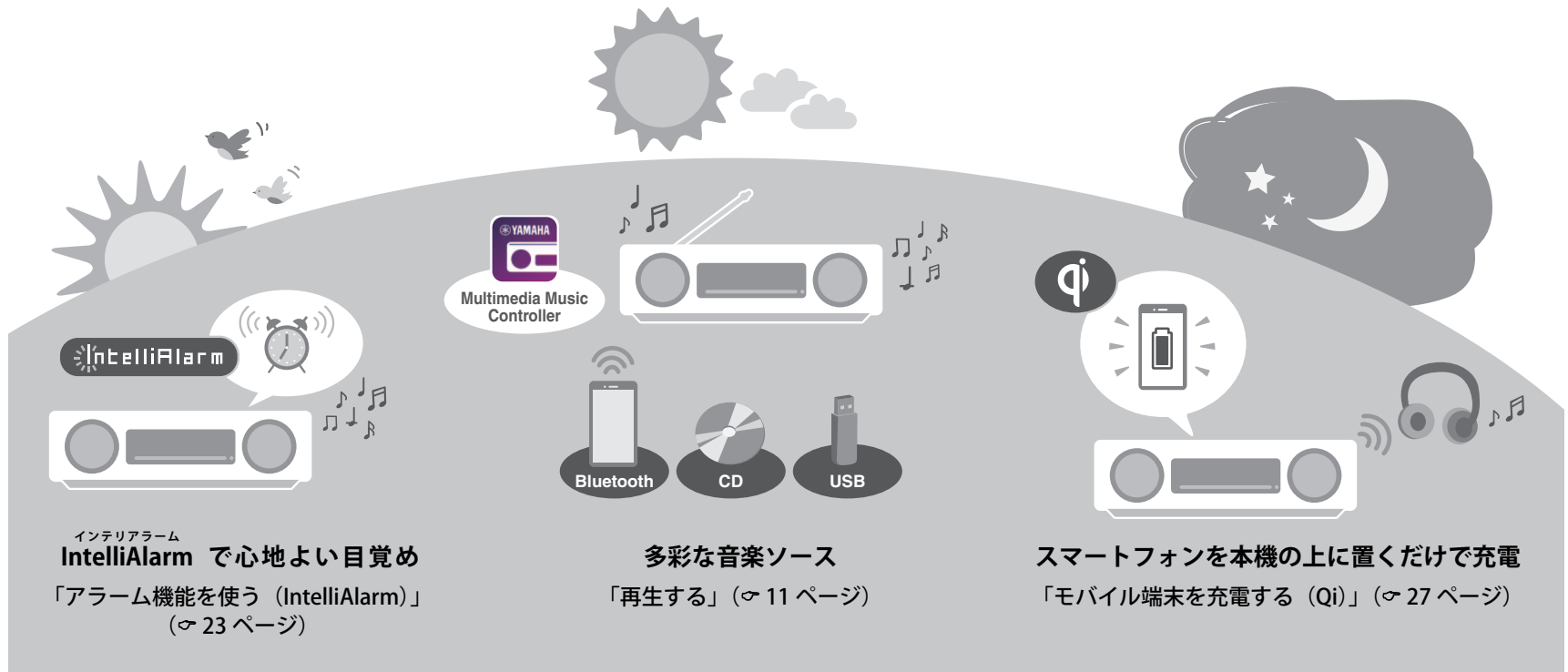
使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。



関連情報が記載されているページです。

本機でできること

- 本機は、CD、Bluetooth、ラジオなど、多彩な音楽ソースを再生できる「デスクトップオーディオシステム」です。
- アラーム機能や充電機能を搭載。日々の暮らしを便利に、豊かに彩ります。
- モバイル端末アプリ「Multimedia Music Controller」マルチメディア ミュージック コントローラー（無料）を使うと、再生や各種設定が簡単にできます。「Multimedia Music Controller」を App Store または Google Play からダウンロードしてください。

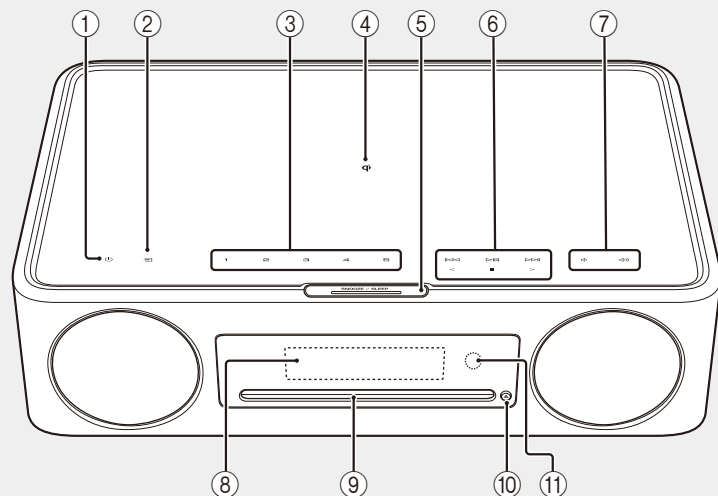


各部の名称

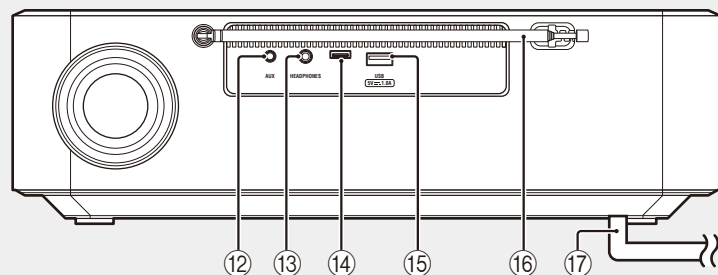
本体

①～③、⑥、⑦はタッチセンサーです。指先で軽くタッチするだけで操作できます。

上面 / 前面

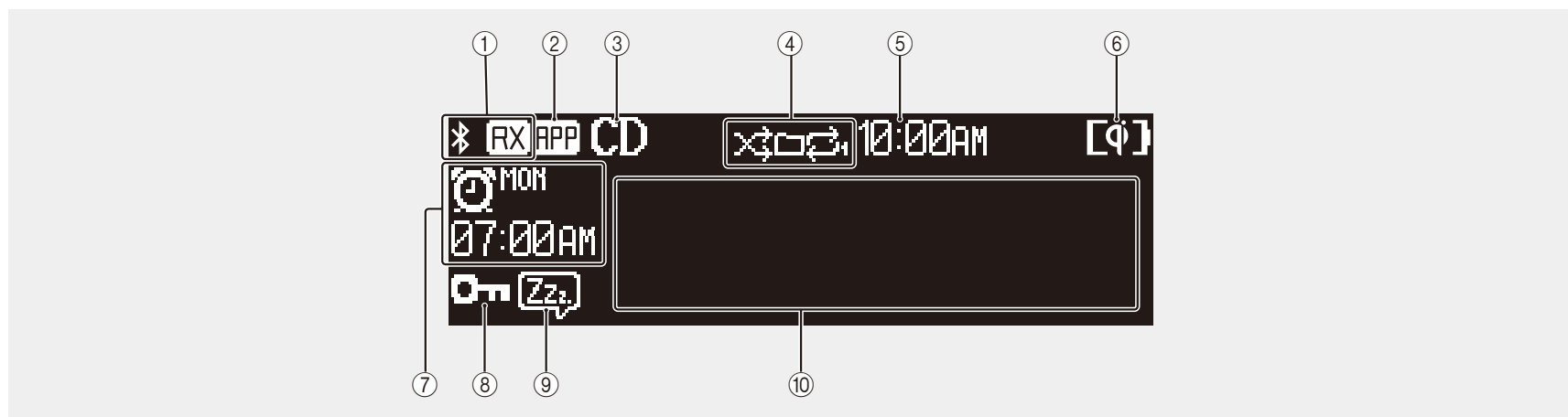


背面



- ① [⏻] 電源オン / スタンバイ (☞ 9 ページ)
- ② [↔] 入力ソースの切り替え
- ③ [1、2、3、4、5] SCENE 機能 (☞ 22 ページ)
- ④ [🔌] 充電スポット (☞ 27 ページ)
- ⑤ SNOOZE/SLEEP (☞ 10、23 ページ)
- ⑥ オーディオ操作 (☞ 11 ページ)
- ⑦ [🔊]/🔊 音量+ / -
- ⑧ ディスプレイ (☞ 6 ページ)
- ⑨ ディスク挿入口 (☞ 11 ページ)
- ⑩ [▲] ディスクの取り出し (☞ 11 ページ)
- ⑪ リモコン信号受光部 (☞ 9 ページ)
- ⑫ AUX 端子 (ミニジャック入力) (☞ 18 ページ)
- ⑬ HEADPHONES 端子
ヘッドホンを接続しているときは、本体から音は出ません。
- ⑭ サービス用端子
メンテナンス時に使います。
- ⑮ USB 端子 (☞ 17 ページ)
- ⑯ FM アンテナ (☞ 15 ページ)
- ⑰ 電源コード (☞ 9 ページ)

ディスプレイ



① Bluetooth インジケータ (☞ 12 ページ)

② APP (Multimedia Music Controller) インジケータ
アプリを使用しているときに点灯します。

③ 入力ソースインジケータ
選択中の入力ソース名が表示されます。

④ シャッフル、リピートインジケータ (☞ 19 ページ)

⑤ 現在時刻

⑥ Qi 充電インジケータ (☞ 27 ページ)

⑦ アラームインジケータ (☞ 23 ページ)

⑧ チャイルドロックインジケータ (☞ 26 ページ)

⑨ スリープインジケータ (☞ 10 ページ)

⑩ 多機能インジケータ

再生中の曲の情報、ラジオの周波数など、さまざまな情報を表示します。
表示される文字数には制限があり、すべての情報が表示されない場合があります。

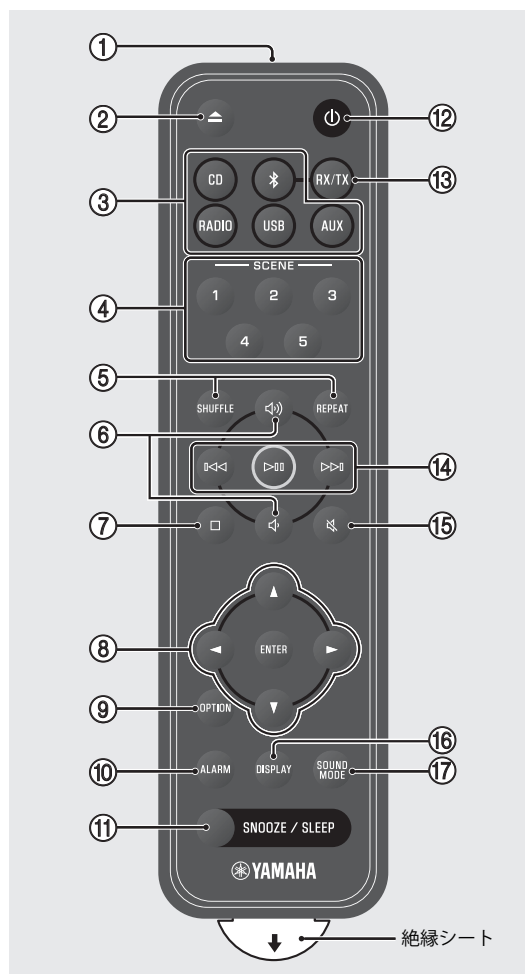
お知らせ

ディスプレイの明るさを調節することができます。

- 自動 (初期値：周囲の明るさに応じて、自動的に調節します)
- 手動 (10 段階で調節可能です)

設定方法は「ディスプレイの明るさを調節する (ディマー)」(☞ 28 ページ) をご覧ください。

リモコン



① 赤外線信号送信部 (☞ 9 ページ)

② [▲] ディスクの取り出し
(☞ 11 ページ)

③ 入力ソースボタン (☞ 11 ページ)
入力ソースを切り替えます。

④ SCENE 機能 (☞ 22 ページ)

⑤ SHUFFLE/REPEAT (☞ 19 ページ)

⑥ [🔊]/[🔊] 音量+ / -

⑦ [□] 再生停止 (☞ 11、17 ページ)

⑧ カーソル操作ボタン (☞ 10 ページ)

⑨ OPTION (☞ 29 ページ)

⑩ ALARM (☞ 23 ページ)

⑪ SNOOZE/SLEEP (☞ 10、23 ページ)

⑫ [⏻] 電源オン / スタンバイ
(☞ 9 ページ)

⑬ RX/TX
Bluetooth の送受信を切り替えます。
(受信 ☞ 12 ページ、送信 ☞ 13 ページ)

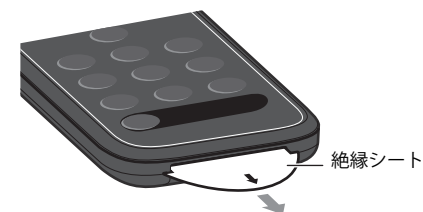
⑭ オーディオ操作ボタン (☞ 11 ページ)

⑮ [🔊] 消音 / 消音解除

⑯ DISPLAY (☞ 20 ページ)

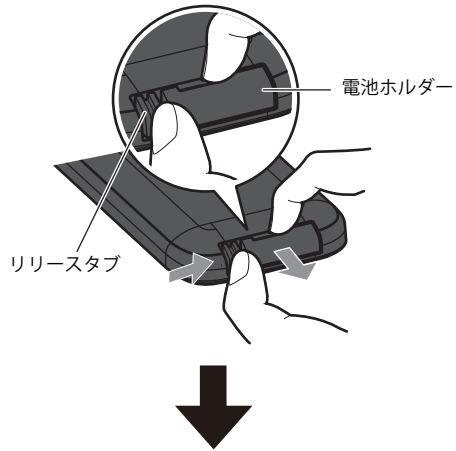
⑰ SOUND MODE (☞ 21 ページ)

電池の絶縁シートを引き抜いてから、リモコンを使用してください。

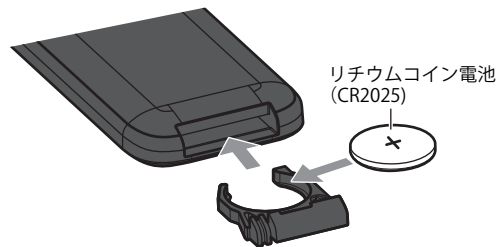


リモコンの電池を交換する

リリースタブを内側にしっかりと押しながら、電池ホルダーをゆっくりと引き出します。



古い電池を取り出して、新しい電池と交換してください。



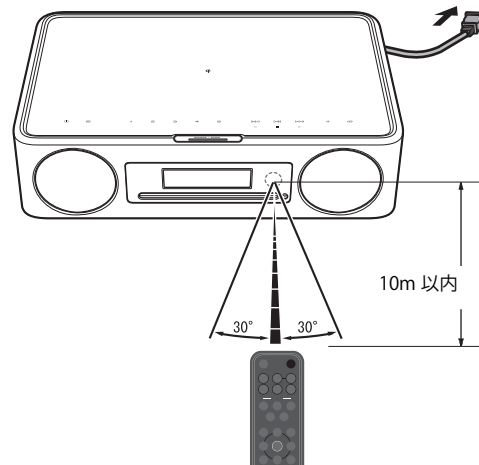
お知らせ

リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、乾電池を新しいものに交換してください。

準備する

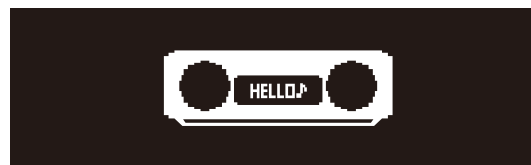
電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差し込む



2 [⏻] を押して、本機の電源をオンにする

本機前面のディスプレイが表示されます。



消費電力を抑える

自動スタンバイ（初期値：オン）

電力の消費を抑えるため、本機は、以下の条件で自動的にスタンバイになります。

- 入力ソースが CD、Bluetooth、USB のいずれかで、20 分以上、再生も操作もしないとき
- 上記以外の入力ソースで、8 時間以上操作をしないと

自動スタンバイを「オフ」にする場合は、「オプション設定」（☞ 29 ページ）をご覧ください。

ECO（エコ）スタンバイ（初期値：オフ）

エコスタンバイにすると、電力の消費を最小限に抑えます。以下の機能が無効になります。

- Bluetooth 接続
- Qi/USB 充電機能

エコスタンバイを「オン」にする場合は、「オプション設定」（☞ 29 ページ）をご覧ください。



本製品は、先進的な省電力設計によりスタンバイ時の消費電力 1.8 W 以下を実現しています。

時計を設定する

1 [OPTION] を押す

オプションメニューが表示されます。



2 [◀▶] で [🕒] を選び、[ENTER] を押す

3 [▲▼] で [時計設定] を選び、[ENTER] を押す

4 [▲▼◀▶] で日付と時刻を設定する



5 [ENTER] を押して確定する

お知らせ

時計設定中に [DISPLAY] を押すと、12 時間表記と 24 時間表記を切り替えられます。



スリープタイマーを使う

本機が自動的にスタンバイになる時間を 120/90/60/30 分、OFF から選べます。

[SNOOZE/SLEEP] を押す

押すたびに時間が切り替わります。スリープタイマーがセットされると、スリープインジケータが点灯します。



お知らせ

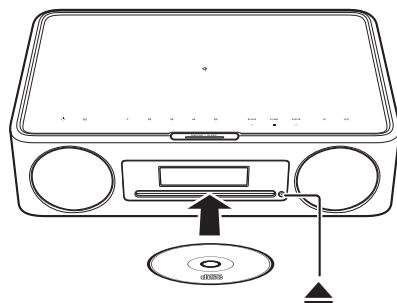
スリープタイマーを解除するには、もう一度 [SNOOZE/SLEEP] を押します。

オーディオ CD を聴く

1 [CD] を押す

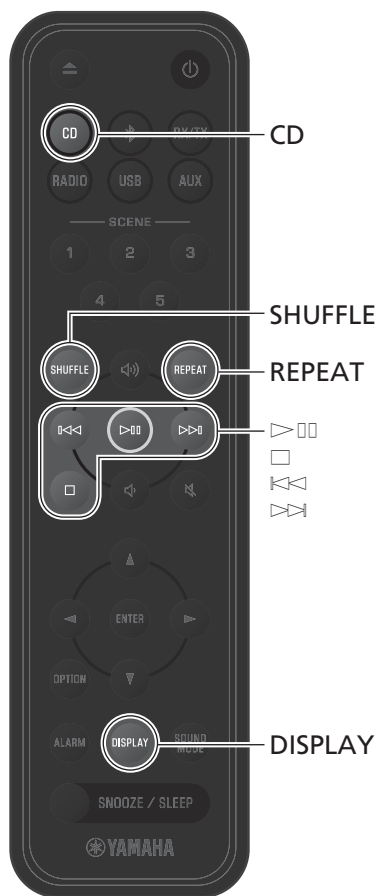
2 ディスク挿入口に CD を挿入する

再生が始まります。CDを取り出すときは [▲] を押します。



お知らせ

- 本機ではオーディオ CD のほかに、MP3/WMA ファイルが記録されているデータ CD も再生できます。
- データ CD を再生するときのリモコンの操作は、USB 機器の音楽再生と同じです (☞ 17 ページ)。
- 本機は 8cm ディスクの再生はできません。ディスク挿入口に 8cm ディスクや、アダプターを使用した 8cm ディスクを挿入しないでください。
- 再生できない CD を挿入すると、排出できなくなる可能性があります。再生できる CD について詳しくは、「対応機器 / メディアとファイル形式」(☞ 37 ページ) をご覧ください。
- 再生中の CD を停止した場合、次回は再生していた曲の始めから再生されます (レジューム再生)。停止した状態で [□] を押すと、レジューム再生はクリアされます。
- 入力ソースに CD を選び、本機に CD をセットしたまま電源を切ると、次回電源をオンにしたときに CD が自動で再生されます。



操作ボタンの機能

▷	再生 / 一時停止
□	停止
⏮	再生中または前の曲の先頭にスキップ 長押しで早戻し
⏭	次の曲にスキップ 長押しで早送り
DISPLAY	再生している CD の情報を表示 (☞ 20 ページ)
SHUFFLE/ REPEAT	☞ 19 ページ

Bluetooth® で音楽を聴く

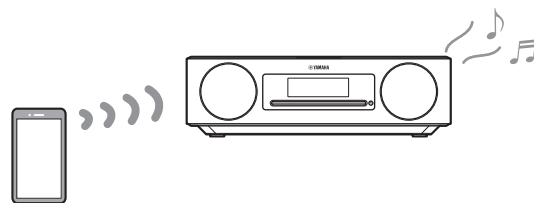
モバイル端末やデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth に対応した機器（以下「Bluetooth 機器」）の音楽を再生できます。また、本機で再生している音声を Bluetooth 対応のスピーカーやヘッドホンで聴くこともできます。
お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

お知らせ

- Bluetooth 機器と Bluetooth スピーカーやヘッドホンを同時に本機に接続することはできません。
- 本機に Bluetooth 機器を接続したことがある場合、前回接続した機器とつながります。別の Bluetooth 機器と接続するには、現在の接続を切断してください。
- Bluetooth 接続を本機で切断するには、[＊] を 3 秒以上長押しします。

Bluetooth 機器の音楽を本機で聴く (受信モード)

本機と Bluetooth 機器を接続して、Bluetooth 機器の音声を本機で再生します。



1 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 [＊] を押す

本機の入力ソースが Bluetooth に切り替わります。

3 Bluetooth 機器の Bluetooth 接続リストから本機を選ぶ

接続すると、Bluetooth インジケーターが点灯します。



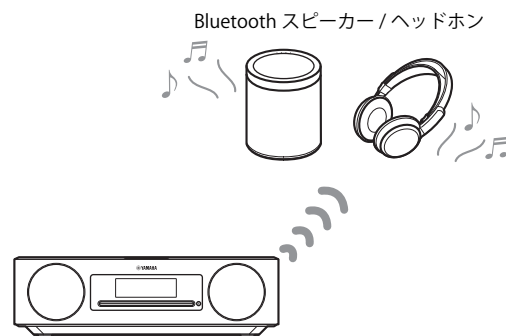
4 Bluetooth 機器の音楽ファイルを再生する

お知らせ

接続できなかった場合は、Bluetooth 機器から本機の登録情報を削除して、手順 2～3 の操作をもう一度行ってください。

本機の音楽を Bluetooth 対応のスピーカーやヘッドホンで聴く（送信モード）


本機の音声を、本機に接続した Bluetooth スピーカーやヘッドホンで再生します。

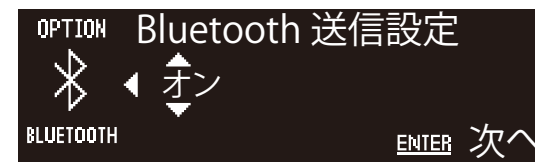


お知らせ

- 本機の入力ソースが Bluetooth の場合は使用できません。Bluetooth 以外の入力ソースを選んでください。
- 必ず音量調節のできる Bluetooth スピーカーやヘッドホンと接続し、音量の調節は接続したスピーカーやヘッドホン側で行ってください。本機では音量の調節はできません。
- Bluetooth スピーカーやヘッドホンの音量を下げてから接続してください。音量設定が大きいと、接続の際に大きな音で再生される場合があります。



- 1 接続したい Bluetooth スピーカーやヘッドホンペアリングモードにする
- 2 本機の [OPTION] を押す
- 3 [◀▶] で [] を選び、[ENTER] を押す
- 4 [▲▼] で [Bluetooth 送信設定] を選び、[ENTER] を押す
- 5 [▲▼] で [オン] を選び、[ENTER] を押す



- 6 [ENTER] を押す
接続可能な Bluetooth 機器を検出し、ディスプレイに表示します。

7 接続したい Bluetooth スピーカーやヘッドホンを選び、[ENTER] を押す

接続すると、Bluetoothインジケーターが点灯します。



8 本機で入力ソースを選び、再生する



お知らせ

- 接続できなかった場合は、もう一度手順 **1** から操作してください。
- 本機に Bluetooth スピーカーやヘッドホンを接続したことがある場合、[RX/TX] を押して TX（送信モード）にすると、前回接続した Bluetooth スピーカーやヘッドホンに自動でつながります。
- TX（送信モード）にすると、本機からは音が出ません。
- 本機をスタンバイにすると、自動的に RX（受信モード）になります。

FM ラジオを聴く

FM アンテナを伸ばし、受信状態のよい方向に向けてください。



放送局を選ぶ

- 1 [RADIO] を押す
- 2 [◀] または [▶] を長押しする

自動選局が始まり、放送局を受信すると自動的に止まります。



お知らせ

ラジオの電波を受信しにくいときは、[◀▶] を押して、手動で選局してください。このとき、音声はモノラルになります。

放送局を登録する

自動プリセット

放送局を自動で選局し、受信状態のよい放送局のみ自動で登録します。

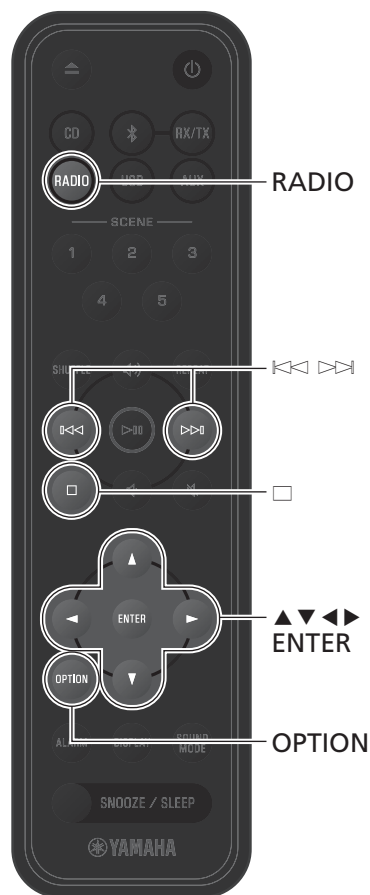
- 1 [RADIO] を押す
- 2 [OPTION] を押す
- 3 [◀▶] で [FM] を選び、[ENTER] を押す
- 4 [▲▼] で [自動プリセット] を選び、[ENTER] を押す

自動プリセット画面が表示されます。

- 5 [ENTER] を押して自動プリセットを始める
終了すると [完了!] と表示されます。

お知らせ

- 登録済みの放送局がある状態で自動プリセットを実行すると、登録済みの放送局は消去されます。
- 放送局は 40 局まで登録できます。
- 設定をキャンセルするときは [OPTION] を押します。



手動プリセット

- 1 登録したい放送局を選ぶ (🔊 15 ページ)
- 2 [ENTER] を長押しする
プリセット画面が表示されます。



- 3 [▲▼] で登録したいプリセット番号を選び、[ENTER] を押す

お知らせ

設定をキャンセルするときは [□] を押します。

登録した放送局を呼び出す

- 1 [RADIO] を押す
- 2 [◀▶] を押して、登録した放送局を選ぶ

登録した放送局を削除する

- 1 [RADIO] を押す
- 2 [OPTION] を押す
- 3 [◀▶] で [FM] を選び、[ENTER] を押す
- 4 [▲▼] で [プリセット削除] を選び、[ENTER] を押す
- 5 [▲▼] で削除したい番号または [全て] を選び、[ENTER] を押す
確認画面で [ENTER] を押すと削除されます。
- 6 [OPTION] を押して設定画面を閉じる

1 [USB] を押す

A diagram showing a USB cable connected to a power source. The power source is a rectangular box labeled "USB" and "5V 1.0A". A speech bubble points from the power source to the USB port on the cable. The cable is connected to a device with a circular port and a USB port.

リモコンのボタンを操作して曲を選び、再生します。

▲▼	フォルダを選ぶ
⏮	再生中または前の曲の先頭にスキップ 長押しで早戻し
⏭	次の曲にスキップ 長押しで早送り
▷⏸	再生 / 一時停止
□	停止
SHUFFLE/ REPEAT	🔀 19 ページ
DISPLAY	再生しているデータの情報を表示 (🔀 20 ページ)

- 音楽ファイルが保存された USB 機器を再生できます。対応 USB 機器については「対応機器 / メディアとファイル形式」(p. 37 ページ)をご覧ください。
- お使いの USB 機器によっては正常に動作しないことがあります。また、すべての USB 機器に対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。
- USB 機器を取り外すときは再生を停止してください。
- USB 機器を本機に接続すると充電されます (エコスタンバイ時を除く)。ただし、接続する機器によっては充電されない場合があります。充電機能を [不可] にする場合は、「オプション設定」(p. 29 ページ)をご覧ください。
- USB 機器を接続するときは、USB ケーブルなどは使わずに、USB 端子に接続してください。

外部機器の音楽を聴く

背面の AUX 端子に外部機器を接続して、外部機器の音楽を聴くことができます。お使いの外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

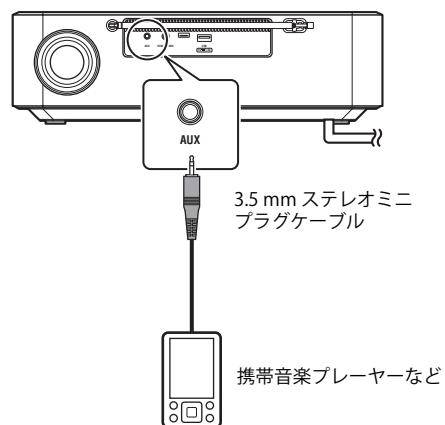
1 コンセントから電源プラグを抜き、外部機器を本機に接続する

接続には、市販のケーブルをお使いください。

4 接続した外部機器で再生する

お知らせ

接続前に、本機と外部機器の音量を十分に下げてください。大音量で再生が始まる場合があります。



2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにする

3 [AUX] を押す

もっと便利に使う

シャッフル/リピート再生や曲情報の確認、SCENE 機能などを使えば、本機をもっと便利に使えます。

シャッフル（ランダム）/ リピート再生で聴く

再生中に [SHUFFLE] または [REPEAT] を押す

押すたびにインジケーターが切り替わり、シャッフルまたはリピートする範囲が変わります。



シャッフル再生

シャッフル インジケーター	再生メディア	
	データ CD/USB	オーディオ CD
all	すべての曲をシャッフル再生	すべての曲をシャッフル再生
	フォルダ内の曲をシャッフル再生	—
非表示	シャッフル解除	シャッフル解除

リピート再生

リピート インジケーター	再生メディア	
	データ CD/USB	オーディオ CD
all	すべての曲をリピート再生	すべての曲をリピート再生
	フォルダ内の曲をリピート再生	—
1	再生中の曲をリピート	再生中の曲をリピート
非表示	リピート解除	リピート解除

曲情報を見る

オーディオやデータ CD、USB 機器の再生中に、再生時間などの曲情報をディスプレイで見ることができます。

再生中に [DISPLAY] を押す

押すたびに表示と情報が切り替わります。

オーディオ CD

表示	情報
PlayTime	再生曲の再生時間
Track Remaining Time	再生曲の残り時間
Total Remaining Time	CDの残り時間

データ CD/USB

表示	情報
PlayTime	ファイルの再生時間
Song	曲名
Artist	アーティスト名
Album	アルバム名
File Name	ファイル名
Folder Name	フォルダー名



お知らせ

再生するメディアによっては、再生中に表示されるアルバム名などの曲情報が、正しく表示されない場合があります。

音質を調整する

お好みに合わせて音質の調整ができます。

トーンコントロール

低音 (Low)、中音 (Mid)、高音 (High) の調節をします。

お知らせ

設定をキャンセルするときは [OPTION] を押します。

- 1 [OPTION] を押す
- 2 [◀▶] で [🎵] を選び、[ENTER] を押す
- 3 [▲▼] で [EQ 調整] を選び、[ENTER] を押す
- 4 低音、中音、高音の調節をする



5 [OPTION] を押して設定画面を閉じる

サウンドモード

[SOUND MODE] を押すたびに、バスブーストとスタンダードが切り替わります。

- バスブースト (初期値)
音楽を聴くときに適したモードです。
- スタンダード
フラットな感覚で、人の会話を聴くときに適したモードです。



[▲▼] で数値を変更し、続けて調節するときは [◀▶] で移動します。設定が完了したら [ENTER] で確定します。

初期値：0

設定可能な範囲：-10 ～ +10

シーン

SCENE にお気に入りの登録する

お気に入りの曲や放送局を SCENE ボタン（1～5）に登録すると、次回から簡単に再生できます。



登録する

登録したい入力ソースの再生中に、登録したい SCENE ボタンを選んで長押しする。

再生中の曲または放送局が SCENE ボタンに登録されます。



登録したお気に入りを選ぶ

再生したい曲または放送局を登録した SCENE ボタンを押す。

- SCENE ボタンに登録された曲または放送局が再生されます。スタンバイ時に押すと電源が入り、再生されます。
- Bluetooth や外部機器の場合、再生曲を個別に登録することはできません。これらに登録した SCENE ボタンを押すと、それぞれの入力ソースに切り替わります。

お知らせ

- すでに登録されている SCENE ボタンに登録すると、登録内容は上書きされます。
- 登録したオーディオ / データ CD、USB 機器とは異なるメディアや機器が挿入または接続されている場合、先頭の曲が再生されます。

アラーム機能を使う（IntelliAlarm）

音楽やビープ音（内蔵アラーム音）を組み合わせ、好みのスタイルでアラームを5つまで設定できます。アラームで鳴らす音楽（以下「アラームソース」）には、CD や USB、ラジオを選択できます。

アラームタイプ		アラームソース（CD、USB、ラジオ）	
音楽ソース	アラーム設定時刻に音楽のみ再生します。 設定時刻の1分前から小さい音量で音楽が鳴り始め、設定時刻になると、設定された音量で鳴ります。	<p>アラームソースによって、以下の再生方法から選択できます。</p> <p>お知らせ CD、USB の場合は、本機に挿入または接続されていないと、曲が再生されません。ビープ音のみ再生されます。</p>	
音楽ソース+ ビープ音	アラーム設定時刻に音楽とビープ音を再生します。 設定時刻の3分前から小さな音量で音楽が鳴り始め、設定時刻になると、設定された音量で音楽とビープ音が鳴ります。	<p>お知らせ アラームソースがデータ CD の場合、「曲指定」を選んでも「レジューム再生」になります。</p>	
ビープ音	アラーム設定時刻にビープ音が鳴ります。	CD	<ul style="list-style-type: none">・ 曲指定：指定した曲を繰り返し再生します。・ レジューム再生：最後に再生した曲を再生します。
		USB	<p>お知らせ 同一フォルダ内に、異なる拡張子で同じファイル名がある場合（「01.mp3」と「01.wav」など）、どちらを再生するか選ぶことはできません。</p> <ul style="list-style-type: none">・ レジューム再生：最後に再生した曲を再生します。
		FM ラジオ	<ul style="list-style-type: none">・ 放送局：登録した放送局から選べます。（☞ 15 ページ）・ レジューム再生：最後に聴いていた放送局を選局します。



アラームを設定する

1 [ALARM] を押す

オプション設定のアラーム設定画面が表示されます。

お知らせ

設定中に設定画面を閉じるときは [OPTION] を押します。

2 [▲▼] でアラーム番号 (1～5) を選ぶ

3 [▶] で項目を移動し、[▲▼] で [ON] を選ぶ



4 [ENTER] を押す

5 アラームの詳細設定をする

[▲▼] で項目を選び、[ENTER] で確定します。

- ① 時、分
- ② アラームタイプ (☞ 23ページ)
- ③ アラームソース (☞ 23ページ)
- ④ 再生方法の設定 (☞ 23ページ)
- ⑤ 繰り返し設定 (「Multimedia Music Controller」アプリを使うと、曜日設定ができます。)
- ⑥ アラーム音量

6 [OPTION] を押して設定画面を閉じる

アラームインジケーターが点灯します。





アラームをオン/オフする

1 [ALARM] を押す

オプション設定のアラーム設定画面が表示されます。

2 [▲▼] でアラーム番号を選ぶ

3 [▶] で項目を移動し、[▲▼] で [ON] または [OFF] を選ぶ

4 [OPTION] を押して設定画面を閉じる

アラームをオンにするとアラームインジケーターが点灯します。

アラームを止める

アラームを一時的に止める

アラームが鳴っているときに [SNOOZE/SLEEP] を押すと、一時的にアラームが止まり、5 分後に再び鳴り始めます (スヌーズ機能)。

お知らせ

アラームタイプが「音楽とビープ音」の場合、アラームが鳴っているときに [SNOOZE/SLEEP] を押すとビープ音が止まり、もう一度押すと音楽も止まります。5 分後に再びビープ音と音楽が鳴ります。

アラームを完全に止める

アラームが鳴っているときに [SNOOZE/SLEEP] を長押しするか、[ALARM] を押すと、アラームが止まります。

お知らせ

アラームを止めない場合、60 分後に自動的に停止します。

チャイルドロック機能を使う

チャイルドロック機能を使って本体の操作を制限し、誤操作を防ぐことができます。

(初期値：オフ)

チャイルドロック機能を「オン」にしたとき、本体で操作できる機能は以下のとおりです。その他の操作はリモコンまたはアプリで行ってください。

- 電源を入れる / スタンバイにする
- アラームを止める

チャイルドロック機能のオン / オフを設定する

- 1 [OPTION] を押す
- 2 [◀▶] で [SYSTEM] を選び、[ENTER] を押す
- 3 [▲▼] で [チャイルドロック] を選び、[ENTER] を押す



- 4 [▲▼] で [オン] を選び、[ENTER] を押す

- 5 [OPTION] を押して設定画面を閉じる

チャイルドロックインジケータが点灯します。



お知らせ

- 設定をキャンセルするときは [OPTION] を押します。
- チャイルドロックを「オン」にしても、ディスク挿入口に CD を挿入することは可能です。お子様が挿入口に異物などを挿入しないようご注意ください。

モバイル端末を充電する (Qi)

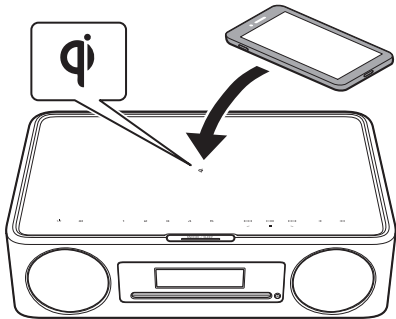
Qi マークのあるモバイル端末を本機で充電することができます。Qi については、お使いのモバイル端末の取扱説明書をご確認ください。

お知らせ

以下の場合、Qi 充電はできません。

- 本機がエコスタンバイのとき
- Qi 機能が無効のとき
- 本機がスタンバイで、スタンバイ設定の充電が [不可] のとき (☞ 29 ページ)

モバイル端末のQiマークのある面を下に向けて、本機のQiマークと重なるように置く



火災、やけど、けがのおそれがあるため、Qi マークの周辺に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップなど）を置かないでください。

充電の状態は、Qi 充電インジケーターで確認できます。

	充電可能
	充電中
	充電完了 モバイル端末によっては、充電完了してもインジケーターが変わらない場合があります。
	充電停止 Qiマークの周辺に異物がないか確認してください。異物がない場合、「故障かな?と思ったら」を参照してください。(☞ 34 ページ)

お知らせ

- 充電が開始されない場合は、モバイル端末を充電スポットから外し、再度充電スポットに置いてください。
- 充電する場合は、モバイル端末に装着しているカバーなどは取り外してください。本機とモバイル端末の間に磁気カードや IC カードが置かれた状態で充電すると、磁気ストライプや RFID チップ（一部のクレジットカードやパスポートなどで使われています）を破損する可能性があります。
- 室温が高い場合、充電に時間が掛かることがあります。
- 充電中に音楽の振動でモバイル端末が動く場合は、付属の滑り止めパッドを端末と本機の間に置いてください。滑り止めパッドは凹凸のある面を上にして置いてください。

ディスプレイの明るさを調節する（ディマー）

調節方法を自動、手動から選ぶことができます。

自動 周囲の状況に合わせて、自動でブライト（明るい）レベル、ダーク（暗い）レベルの2段階で明るさを調節します。それぞれのレベルで、より細かな数値を設定することができます。数値が大きくなるほど明るくなります。	ブライトレベル 5～9 (初期値：7) ダークレベル 0～4 (初期値：2)
手動 お好みの明るさを10段階で設定できます。	0～9 (初期値：7)

5 [▶] で数値設定の項目に移動し、[▲▼] で数値を設定する

以下は「自動」を選んだときのディスプレイです（明：ブライトレベル、暗：ダークレベル）。



6 [ENTER] を押して設定を完了する

7 [OPTION] を押して設定画面を閉じる



1 [OPTION] を押す

2 [◀▶] で [SYSTEM] を選び、[ENTER] を押す

3 [▲▼] で [ディマー] を選び、[ENTER] を押す

4 [▲▼] で [自動] または [手動] を選ぶ

オプション設定

さまざまな設定ができます。設定できる項目については、次ページの「オプションメニュー一覧」をご覧ください。

1 [OPTION] を押す



2 [◀▶] で設定したいメニューグループを選び、[ENTER] を押す






3 [▲▼◀▶] で項目や設定を選び、[ENTER] で確定する

設定をキャンセルするときは [OPTION] を押しします。

4 [OPTION] を押して設定画面を閉じる



オプションメニュー一覧

メニューグループ	項目	
OPTION CLOCK 	時計設定 (☞ 10 ページ)	
	アラーム設定 (☞ 23 ページ)	
OPTION AUDIO 	EQ 調整 (☞ 21 ページ)	
	サウンドモード (☞ 21 ページ)	
OPTION BLUETOOTH 	Bluetooth 送信設定 (☞ 12 ページ)	
	ディママー (☞ 28 ページ)	
	メニュー言語設定	ディスプレイに表示する言語を選びます。
	Qi 機能 (☞ 27 ページ)	
	自動スタンバイ (☞ 9 ページ)	
OPTION SYSTEM 	スタンバイ設定	ECO スタンバイ 消費電力を最小限に抑えます。(☞ 9 ページ)
		充電 [不可] にすると、スタンバイ時の Qi/USB 充電はできません。(初期値：可) (☞ 27 ページ)
	チャイルドロック (☞ 26 ページ)	
	ディスク手動イジェクト	本機中のディスクを排出します。
	初期化	工場出荷状態に戻します。
	ファームウェア	バージョン情報 本機のファームウェアのバージョンを表示します。
		ファームウェア更新 本機のファームウェアを更新します。最新のファームウェアはヤマハのウェブサイトからダウンロードできます。詳しくは、ファームウェア更新時に提供される情報をご確認ください。
OPTION * FM 	自動プリセット (☞ 15 ページ)	
	プリセット・削除 (☞ 16 ページ)	

* 入力ソースが FM のときのみ表示されます。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に動作しない場合は、本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れる。 正常に動作しない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。
本機を操作できない。	外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。	本体の[▲]を8秒以上長押ししてください。スタンバイ状態に戻ります。
	再生したい入力ソースが正しく選ばれていない。	入力ソースボタンで再生したい音楽ソースを選びなおしてください（☞7ページ）。
スピーカーから音が出ない。	音量が最小またはミュートになっている。	音量を大きくしてください。
	BluetoothがTX（送信モード）になっている。	BluetoothをRX（受信モード）にしてください（☞12ページ）。
	AUX端子と外部機器がしっかり接続されていない。	端子と外部機器の接続を確認してください。接続に問題がないときは、ケーブルに不具合がないか確認してください。
雑音が入る。	本機と再生機器を接続しているケーブルが破損している。	接続を確認してください。接続に問題がなければ、別のケーブルに交換してください。
突然電源が切れる。	スリープタイマーを設定していた（☞10ページ）。	本機の電源をオンにして再生しなおしてください。
	自動スタンバイを設定していた（☞9ページ）。	
音割れ、音のゆがみ、異音がする。	音量（とくに低音）が大きいく。	音量を下げるか、トーンコントロール（☞21ページ）で低音を調節してください。

症状	原因	対策
時刻の設定内容が消えた。	本機への電力供給が1週間以上遮断されていた。	電源コードをコンセントから抜いたまま1週間以上経過すると、設定がリセットされることがあります。この場合は時刻を再度設定してください（☞ 10ページ）。
周囲に設置している電子機器から雑音が出る。	本機と電子機器の位置が近すぎる。	本機をそれらの機器から離して設置してください。
リモコンで本機を操作できない。	リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。	操作範囲内からリモコンを操作してください（☞ 9ページ）。
	本機のリモコン信号受光部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）があたっている。	照明または、本体の向きや置き場所を変えてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池と交換してください（☞ 8ページ）。
	リモコンと本機の間には障害物がある。	障害物を取り除いてください。
本体のタッチセンサーボタンで操作できない。	チャイルドロック機能が「オン」になっている。	チャイルドロック機能を「オフ」に設定してください（☞ 26ページ）。
	タッチセンサーボタンの上に物が置いてある。	タッチセンサーボタンの上に物を置かないでください。

Bluetooth

症状	原因	対策
本機と Bluetooth 機器が接続できない。	本機が他のBluetooth機器と接続されている。	現在の接続を切断してから、使用したい機器と接続してください。
	本機とBluetooth機器の距離が離れすぎている。	本機とBluetooth機器を近づけてください。
	2.4GHz周波数帯を使用する機器（電子レンジ、無線LANなど）からの干渉により、無線通信が妨害されている。	本機やBluetooth 機器と、それらの機器を遠ざけてください。また、無線LAN ルーターが5GHz 周波数帯に対応している場合は、ネットワーク機器を5GHz 周波数帯を使ってネットワークに接続してください。
	Bluetoothアダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。	パスキーが「0000」の機器をご使用ください。
	お使いのBluetooth機器がA2DPプロファイルに対応していない。	A2DPプロファイル対応のBluetooth機器をお使いください。
音が出ない、または音が途切れる。	Bluetooth機器の音量が最小になっている。	Bluetooth機器の音量を上げてください。
	Bluetooth機器の音声出力先が本機になっていない。	Bluetooth機器を操作し、音声出力先として本機を選択してください。
	Bluetooth接続が切断された。	Bluetooth接続を再度行ってください（☞ 12ページ）。
	2.4GHz周波数帯を使用する機器（電子レンジ、無線LANなど）からの干渉により、無線通信が妨害されている。	本機やBluetooth 機器と、それらの機器を遠ざけてください。また、無線LAN ルーターが5GHz 周波数帯に対応している場合は、ネットワーク機器を5GHz 周波数帯を使ってネットワークに接続してください。
	本機とBluetooth機器の距離が離れすぎている。	本機とBluetooth機器を近づけてください。

ディスク

症状	原因	対策
ディスクをセットしても再生されない。 特定の機能が動作しない。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください (☞ 37ページ)。
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭きとってください (☞ 37ページ)。
[▶⏮] を押しても再生が始まらない (すぐに停止する)。	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	本機の対応ディスク情報および使用しているディスクの種類を確認してください (☞ 37ページ)。
	本機を気温の低い場所から高い場所に移動したため、レンズ部に露が付いた。	本機を1~2時間ほど放置し、部屋の温度になじませてから、再度操作してください。
[▲] を押してもディスクが排出されない。	—————	「オプション設定」の「ディスク手動イジェクト」を操作してください (☞ 30ページ)。

Qi

症状	原因	対策
充電が停止した。	Qiマークの周辺に異物がある。	異物を取り除いてください。
	本機またはモバイル端末の温度の上昇により、一時的に充電を停止した。	温度が下がれば充電を再開します。

USB 機器

症状	原因	対策
USB 機器が認識されない。	USB 機器がUSB端子に正しく接続されていない。	本機の電源を切り、USB機器を接続しなおしてください（☞ 17ページ）。
	FAT16/32フォーマット以外のUSB 機器を使用している。	FAT16/32フォーマットのUSB 機器を使用してください。
USB 機器のフォルダやファイルが表示されない。	暗号化機能によりUSB機器内のデータが保護されている。	暗号化機能のないUSB機器を使用してください。
再生が始まらない（すぐに停止する）。	本機で再生できないファイル形式を再生しようとしている。	本機で対応しているファイル形式をご確認ください（☞ 38ページ）。

ラジオ

症状	原因	対策
ステレオ放送になると雑音が多く聴きづらい。	放送局から離れた地域で受信しているなどの理由でアンテナ入力弱い。	FMアンテナの高さや方向、本機の設置場所を変えてください。
自動選局ができない。	放送局から離れた地域で受信しているなどの理由でアンテナ入力弱い。	FMアンテナの高さや方向、本機の設置場所を変えてください。 手動で選局してください（☞ 15ページ）。
登録した放送局を呼び出せない。	メモリーに登録された設定内容が消去された。	放送局を再登録してください（☞ 15ページ）。
音が歪むなど受信感度が悪い。	マルチパス（多重反射）などの妨害電波を受けている。	FMアンテナの高さや方向、本機の設置場所を変えてください。
	Qi充電の影響を受けている。	Qi機能を「不可」に設定してください（☞ 30ページ）。

ディスプレイの表示メッセージ

表示	内容	対策
ディスクなし	本機で再生できないディスクを挿入した。	ディスクが本機に対応しているか確認してください（☞ 37ページ）。
	ディスクが汚れている、または異物が付着している。	ディスクの汚れを拭きとってください。または、付着した異物を取り除いてください。
読み込み中	指定されたファイル/コンテンツを読み込んでいます。	読み込みが終わるまでしばらくお待ちください。
不明なディスク	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクはラベル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを再生しようとしている。	ディスクが本機に対応しているか確認してください（☞ 37ページ）。
不明なメディア	本機で再生できないディスクまたはUSB機器を再生しようとしている。	ディスクやUSB機器が本機に対応しているか確認してください（☞ 37ページ）。
再生不可ディスク		
ファイルなし	再生可能なファイルが入っていない。	再生可能なファイルが入っているディスクまたはUSB機器をセットしてください（☞ 37ページ）。
読み込みエラー	指定されたファイル/コンテンツの読み込みに失敗した。	ディスクまたはUSB機器を取り外して、再度セットしてください。
未接続	本機とBluetooth機器が接続されていない。	Bluetooth接続を確認してください。

対応機器 / メディアとファイル形式

対応機器 / メディア

USB 機器

- FAT16またはFAT32でフォーマットされたUSBメモリに対応しています。その他のUSB機器（スマートフォンや携帯音楽プレーヤーなど）は接続しないください。
- 暗号化機能があるUSB機器は使用できません。
- すべてのUSB機器に対する接続を保証するものではありません。

ディスク

- 本機は下記のロゴがついた音楽CD、CD-R/RW（ISO9660フォーマット）を再生できます。

音楽 CD



CD-R/RW*

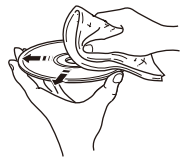


* 次のいずれかの表示があるもの。
FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

ディスクに関するご注意

- 本機の故障やディスクの破損の原因となりますので、上記以外のディスクは使用しないでください。
- ファイナライズされていないCD-R/RWディスクは再生できません。ファイナライズとは、各ディスクの再生対応機器で再生できるように処理することです。
- 一部のCD-R/CD-RWディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。
- ハート型などの特殊形状のディスクは使用しないでください。

- 表面に傷のあるディスク、ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクを持つときは、ディスクの縁や中央の穴を持つようにし、表面に触れないでください。
- ディスクのラベル面に文字を書くときは、先の柔らかいペンなどを使用してください。
- テープやシール、ラベルなどが貼ってあるディスクを挿入すると、排出されなくなる可能性があるため、使用しないでください。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- ディスク以外のものを本機に挿入しないでください。
- ディスクは1枚だけ挿入してください。2枚以上重ねて挿入すると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で中心から外側へ向かって拭いてください。レコードクリーナーやシンナーなどは使わないでください。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。
- ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ディスクを使用していないときは、本機からディスクを取り出し適切なケースに入れて保管してください。



ファイル形式

本機は、以下のファイル形式に対応しています。

USB

フォーマット	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数 (bit)	ビットレート (kbps)	チャンネル数
WAV*	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192	16/24	-	2
MP3	32/44.1/48	-	8-320	2
WMA	32/44.1/48	-	8-320	2
MPEG-4 AAC-LC	32/44.1/48	-	8-320	2
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192**	16/24	-	2
ALAC	32/44.1/48	16/24	-	2
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192	16/24	-	2

* リニア PCM フォーマットのみ

**楽曲や圧縮率などにより、正常に再生できない場合があります。

DRM（デジタル著作権管理）により保護されたファイルは再生できません。

CD

フォーマット	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数 (bit)	ビットレート (kbps)	チャンネル数
MP3	32/44.1/48	16	8-320	2
WMA	32/44.1/48	16	8-320	2

主な仕様

入力		
AUX		3.5 mm ステレオミニジャック
出力		
HEADPHONES		3.5 mm ステレオミニジャック
USB		
オーディオフォーマット		MP3、WMA、AAC、WAV、FLAC、ALAC、AIFF
CD		
レーザー	タイプ	半導体レーザー GaAs/GaAlAs
	波長	775-780 nm
	出力	4 mW
再生メディア *		CD、CD-R/RW
オーディオフォーマット		オーディオ CD、MP3、WMA
*8cm ディスクは非対応		
Bluetooth		
Bluetooth バージョン		Ver. 4.2
対応プロファイル		A2DP (Sink、Source) AVRCP
対応コーデック		SBC
最大伝達範囲		10 m (障害物が無いこと)
Bluetooth 出力		Class 1
チューナー		
受信周波数範囲	FM	76.0 MHz ~ 95.0 MHz
アンプ部		
最大出力	スピーカー	25 W + 25 W (6 Ω、1 kHz、10% THD)
	ヘッドホン	20 mW + 20 mW (16 ~ 32 Ω、1 kHz、10% THD)

ワイヤレス充電

規格	Qi 認証済み
総合	
電源電圧／周波数	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	42 W
待機消費電力	エコスタンバイ (オン時) : 0.9 W 以下 (オプション設定 : ディマーレベル 7) エコスタンバイ (オフ時) : 1.8 W 以下 (オプション設定 : ディマーレベル 7、充電不可)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	370 × 111 × 252 mm
質量	4.2 kg

この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードして読みいただけますようお願いいたします。



ヤマハエコラベルは、優れた環境性能を備えた製品として、ヤマハグループが認定するマークです。



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。



「Qi」及びマークはワイヤレスパワーコンソーシアムの商標です。

ソフトウェアライセンス

本機は以下のソフトウェアを使用しています。

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
 4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.
- You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.
5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
 6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
 7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
 8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other

commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

FLAC

Copyright © 2000–2009 Josh Coalson
Copyright © 2011–2016 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-011-808**

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

<https://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  **0570-012-808**

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

Manual Development Group
© 2020 Yamaha Corporation
2021年7月発行
KSEM-B0

AV18-0106

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1